

バージョン 2.2

CS3・CS3+(60226・60216)用ソフトウェアアップデート 2.2 新機能の特色と可能性

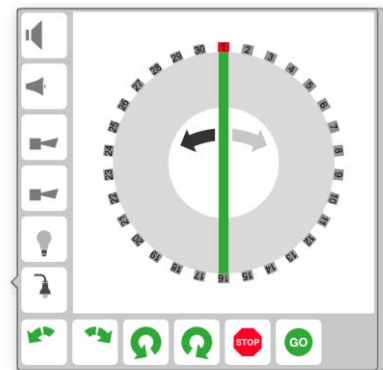
このアップデートでは、CS3およびCS3+に以下の点が実装されます。

1. メルクリン74861およびTRIX66861ターンテーブルの操作インターフェースの導入。
2. 764xxシリーズ遠方信号機付き主信号機の拡張された登録機能。
3. 前バージョン2.1に対し、さまざまな機器の機能と動作の最適化。

ターンテーブルの操作インターフェイス

アクセサリ機器リストの設定メニューの選択リストには、新しいターンテーブル、メルクリン74861とトリックス66861用の特別な選択肢もあります。ターンテーブルを回転させるための見慣れたコマンドに加えて、このターンテーブルを特徴付ける様々なサウンド機能を起動するためのボタンも含まれています。

このユーザーインターフェイスは、手動で、またはターンテーブルに実装されているmfxデコーダの編集を介して設定できます。制御システムの詳細については、それぞれのターンテーブルのマニュアルを参照して下さい。



色灯式信号機 76495, 76496, 76497 の設定

ご存じのように、これらの主信号機を設定するとき、メインマストに取り付けられた遠方信号機のために、信号機の種類に関する各種情報、および必要に応じて、その先にある主信号機のアドレス情報をデコーダに保存する必要があります。これらの設定が、手動でも、mfx編集でも快適にサポートされるようになりました。

それにより、システムは、遠方信号機に対応する主信号機と紐付けます。どちらも機器リストにあるものです。2つの信号機が対応付けられると、主信号機を切り換えるとすぐに、対応する遠方信号機も常に自動的に切り換わります。CS3のヘルプ機能の説明も読んで下さい。

更なる最適化

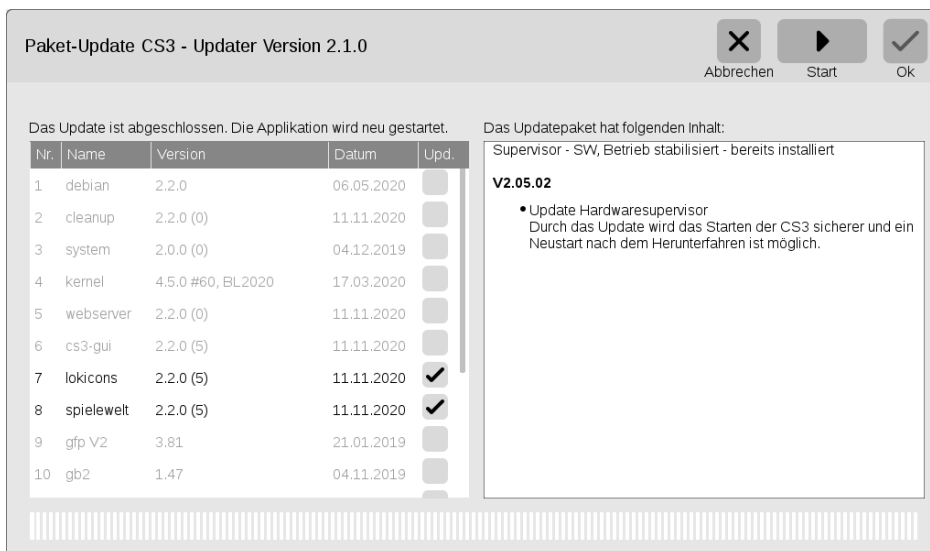
ソフトウェアの様々な変更は、ある条件下で、動作の信頼性を高め、高速化するのに役立ちます。

それだけでなく、この更新により、主に2020年に発表された新しい車両の画像が追加され、CS3画像データベースで利用できるようになりました。ただし、これらの画像データは他のデバイスに渡されないことに注意して下さい。これらの新しい画像データは、同じシステムにあってもCS2では利用できません。

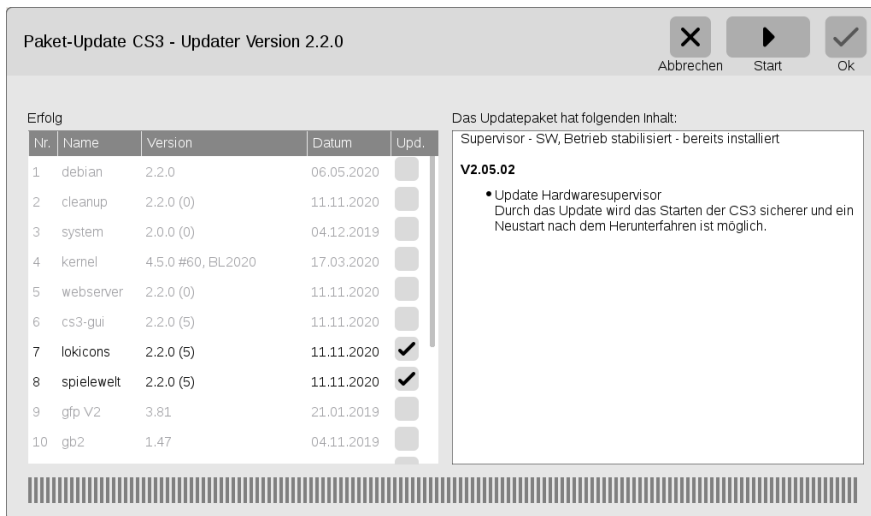
更に、このアップデートで、2021年以降にリリースされる品番66855・66856の新しいNゲージ用デコーダーを、プログラム・調整できるようになりました。

ファンクションアイコンもまた追加されました。全体を見渡せるように、それらは同様の種類のグループに分けられます。これにより、それぞれの機能に適したアイコンを簡単に見つけることができます。

更新を実行するときは注意して下さい：ソフトウェアの構成によっては、更新プロセスで2回スタートが必要になる場合があります。CS3に下図のようなウィンドウが表示されている場合に、それが必要になります。ここで、一番上の行には、まだバージョン2.1.0が表示されています。チェックマークの付いた2つのファイルはまだ更新されていません。再度 'Start' ボタンにタッチして更新を再開すると、次ページの画面が表示されます。



CS3 アップデート情報



上図のように、新しいバージョン番号2.2.0が一番上の行に表示された場合にのみ、すべてのデータが更新されたことを示します。その後、GFP3(ブースター)などの更新もある場合、それらを持っていれば、アップデートすることを忘れないで下さい。

CS3の新しい可能性を楽しんでいただければ幸いです。

敬具

Märklin サービスチームより